昭和39年5月24日（昭和34年9月30日第三種郵便物認可）壬生町政だより（毎月24日発行）第65号

壬生町政だより

39年5月号

No. 65
毎月1回発行
発行所 栃木県壬生町役場
印刷所 株式会社 新生社

諸統計より

人口統計

		対前月比
昭和39年5月1日現在		
総人口	24,137人	65人減
男	11,770人	49人減
女	12,367人	16人減
世帯数	4,608世帯	12世帯増

都市計画の街路

幅員18メートルの新設道路

宮街道から国道へ

～玩具団地南側道路～

昭和三十九年度の壬生町並びに石橋町の都市計画街路事業として、図に示すとおり、宇都宮栃木線の県道から東武鉄道を立体交叉でまたぎ、幅員二七六メートル、壬生地区十八メートル、石橋地区十二メートル、永久橋を架け石橋町通古山の北方で国道四号線と結ばれます。（前田製菓工場につき当る）この線は国谷石橋線と呼ばれ、現在の県道石橋羽生田線のつけ替えとして将来県道となります。

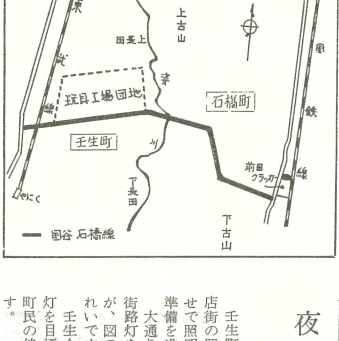
この国谷石橋線は総延長四、二七六メートル、幅員は石橋地区十二メートル、壬生地区十八メートル、六〇〇トルです。事業費は一億八千万円の予定です。

本年度は二、四〇〇万円の事業費で、すでに測量を済ませました。

小田垣町長談

輸出金属玩具団地完成時には一日に一、六〇〇台の自動車交通量が発生するために昭和三十九年度中には、とりあえず宇都宮栃木線の県道と国道四号線の交通を可能にしたい。

見通しは明るいが今後も努力したい。



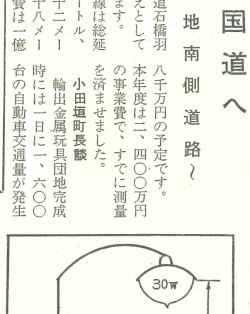
夜のお買物も壬生町へ

街路灯三百四十灯を

壬生町商工会では、商店街の照明と看板の組合せで照明灯をつけるよう準備を進めています。

大通りに面した各戸に街路灯を建てるわけですが、図のとおり非常にきれいで立派なものです。

壬生全地区で約三〇〇灯を目標にして、商店会町民の協力が望まれます。



（さし絵は看板つきの街路灯）

篠原少年が知事表彰

今年の児童福祉週間の行事として、次の二名の方が知事から表彰されました。

▽模範児童として壬生町国谷―篠原賢一君（11才）東小六年生

▽児童福祉功労者として壬生町六美町本田喜晴氏（県青少年問題協議会委員、作新学院教諭、同校外補導員、県ボーイスカウト理事）

総代の永年勤続者表彰

国保の健康家庭も

▽壬生町では四月二十四日、中央公民館で、国民健康保険の表彰式に先だち、部落総代の永年勤続者として次の四氏を表彰して、賞状と記念品を贈呈しました。

鈴木貞一氏（上表町）
宇都見伴治氏（東下台）
鈴木直太郎氏（城内）
三橋長吉氏（安塚二）

▽また国民健康保険の健康家庭（国民健康保険に加入していて一度も保険証を使用しなかった家庭）を表彰することになり、昭和三十七年度実績を調査して、四月二十四日、次のとおり表彰しました。

壬生地区＝上通町、木村信吉氏ほか九十一名
稲葉地区＝上稲葉、荒川重利氏ほか四十四名
南犬飼地区＝国谷、野口勇氏ほか三十九名

臼井氏ほか二氏に知事褒賞

栃木県では五月三日に恒例の県知事並びに県教育委員会表彰としてそれぞれ賞状、記念品を贈呈されました。

▽優良消防団員として勤続三十年消防業務につくした中泉の臼井武団長。

▽栃木県農業団体関係功労者として安塚の佐藤正幸氏。

▽教育功労者として壬生小学校長海老沼甚次氏。

新しい総代さん

（四月一日以降交替分）

上新町　伊藤勤市
東下台　金成竹次郎

カとハエの駆除はじまる

五月一日より、蚊とはえの駆除を開始しております。各部落、町内ではその実施日割をまとめ役場の方へ申込み下さい。

役場（民生課）では、

民謡講座で練習会

中央公民館

情緒豊かな全国各地の民謡と体育、レクリエーションを兼ねて中央公民館では左記のとおり、毎月三回民謡講座を開設いたします。初歩のかたを特にかんげいいたします。

一練習日＝毎月三回、土曜日、午後七時半

働く年少者の作文募集

年少者のみなさん自身の働く生活の実情や、働く生活の体験を感想、考えなどをありのままの文を募集しています。

○題名は自由、作品は一人一編

○四百字詰原稿用紙六枚以内

○資格は昭和二十一年四月一日以降に生まれた働く年少者

○締切日は六月十日

○原稿の送り先
宇都宮市一の沢町七番地　栃木婦人少年室

○くわしくは同所へおたずねください。

五月の納税

固定資産税　第一期分

二場所＝中央公民館
二講師　門井永英先生

なお詳細な点は公民館事務局でおたずねください。

保育所へ鯉のぼり寄贈

至宝町　田中栄一さん

風がおる五月の空に鯉のぼりが元気いっぱいになびいて、見上げる子どもたちの眼もキラキラ輝いています。

壬生保育所に鯉のぼり一式が寄附されました。その人は至宝町の田中栄一さんからで、息子さんが入所しており、鯉のぼりのないのを知って寄附したものです。

保育所では五月四日に一日早い子どもの日を祝いました。この壬生保育所には現在六十名（六歳から一歳まで）の児童が入所しており、所長さんや保母さんによって温かく育くまれております。

近く安塚にも保育所ができその利用が大いに期待されています。また仲間町の八百忠さんからも鯉のぼり二本が寄附されました。

この間約六月壬生幹部警察官派出所は五月九日から壬生中央公民館の二階会議室と下の事務室を使用して警察事務に支障のないようにしたいと所長は語っています。

なお同所の人員は所長以下警官三名、ほかに駐在所が六カ所六人が町民の保護に当っています。

（写真はその鯉のぼり）

公民館に仮移転

壬生幹部派出所

お知らせ

電気工事士の試験案内

栃木県警察官派出所では、現在の建物をとりこわして、新しい庁舎を建設することになりました。

この間約六月壬生幹部警察官派出所は五月九日から壬生中央公民館の二階会議室と下の事務室を使用して警察事務に支障のないようにしたいと所長は語っています。

なお同所の人員は所長以下警官三名、ほかに駐在所が六カ所六人が町民の保護に当っています。

一般電気工事の作業をする人は、電気工事士法という法律によってこの電気工事士試験に合格しなければ工事を行なうことができません。

その工事士の試験が次のように行なわれます。

○受付期間
五月一日から六月一日まで。

○試験日　六月二十八日

○試験場　県立宇都宮商業高等学校

くわしくは県商工課保安安保にお問い合せ下さい。

諸統計より

カとハエのいない健康で楽しい生活を築こう

この制度は、農業の近代化をすすめるために必要な農舎、畜舎、果樹棚などの各種の生産施設や自動耕耘機などの機械器具の整備拡充、あるいは乳牛などの家畜導入を円滑にするため、農協の資金を長期低利で農家に融資することをねらいとして三十六年から実施しているものですが、この制度に、農業の近代化のために必要な農舎、畜舎、果樹棚などの各種の生産施設や自動耕耘機などの機械器具の整備拡充、あるいは乳牛などの家畜導入を円滑にするため、農協の資金を長期低利で農家に融資することをねらいとして三十六年から実施しているものですが、この制度に対する農家の期待は大きく、三十八年までの三カ年に約四十億円という大きな量の貸付制度のうち、農業近代化資金や、ワラ屋根改造資金などの融通を円滑にするため、本年度は、十七億円の融資枠を設けて畜産関連の造成振興をはかることとしました。

この資金の貸付条件は、貸付利率年六分五厘、償還期限二年以内の中期資金で、農業協同組合から貸し出されることになっています。

★農業近代化資金について

この資金は、いわゆるワラ屋根改造資金で、農業近代化の一環として三十六年から新らしい農業技術を普及奨励するため、この技術導入に必要な資金を三年以内の期間、県が無利子で貸付する制度として実施してきました。

本年度は、この制度の大巾な改訂が行なわれ、いままでの技術導入資金のほかに、つぎの二種目が加えられる予定です。

★農業改良資金について

この資金は、農家生活の改善をすすめ、関係法令の改正をまって後日お知らせすることにします。

なお、これらの貸付制度を利用される場合は、借入手続きその他くわしいことについて農業協同組合、役場経済課へご照会ください。

★農業資金について

この制度は、農業資金や貸付金の貸付制度のうち、農業近代化資金やワラ屋根改造資金などの融通を円滑にするため、本年度は、十億円の融資枠を設けて畜産関連の造成振興をはかることとしました。

この資金の貸付条件は、貸付利率年六分五厘、償還期限二年以内の中期資金で、農業協同組合から貸し出されることになっています。

★農単農業近代化資金について

この資金は、いわゆるワラ屋根改造資金で、農業近代化の一環として三十六年から県単独の奨励事業として市町村と協力して実施してきました。

屋根改造の希望はひきつづき多く、したがいまして資金借入のみなさまの方のご要望にこたえることとします。

この資金の貸付利率は年五分五厘で、十年以内の期間で返済することになっています。

★農山村生活環境整備資金について

この資金は、農業生活の改善資金と農業経営の次代をになう農村青少年の育成確保をはかるための事業育成資金即ち農業後継者育成資金の二つです。この貸付計画額も前年の三倍をこえる一億二千万円に増額されています。

くわしいことについては、関係法令の改正をまって後日お知らせすることにします。

なお、これらの貸付制度を利用される場合は、借入手続きその他くわしいことについて農業協同組合、役場経済課へご照会ください。

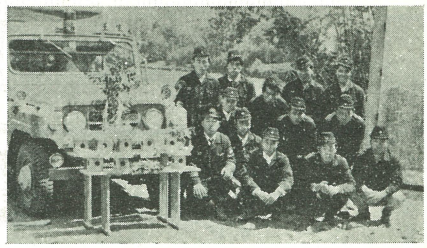
優秀ポンプの入魂式

羽生田で

壬生町消防団に六台目の優秀な自動車ポンプが配車になり、四月二十九日入魂式をあげ小田垣消防長から第二分団第三部（部長木立政夫）に配属されました。

配属されたポンプはニッS、三、九五六CCという強力なもので乗車定員八名です。

【写真＝新しい自動車とその団員達】



サンパトロールFG六〇型、六三年式で最大出力百二十五PS、三、九五六CCという強力なもので乗車定員八名です。

医師の休診日

壬生町管内の病院、医師、歯科医師の休診日は次のとおりです。（昭和三十九年四月）

市川医院＝第一、第三日曜日

小倉医院＝第二、第四日曜日

木村医院＝第二、第四日曜日

陣内医院＝第二、第四日曜日

長島医院＝毎日曜日

早川病院＝第一、第三日曜日、祭日午後のみ

長谷川医院＝第一、第三日曜日

前原医院＝第一、第三日曜日

渡辺医院＝第一、第三日曜日

石崎医院＝定めなし

上野歯科医院＝定めなし

細谷歯科医院＝毎日曜日

橋詰歯科医院＝水曜日、日曜日、祭日

佐藤医院＝第二、第四日曜日

島田医院＝第一、第三日曜日

石川歯科医院＝毎日曜日

毎月十五日

条川医院＝第一、第三日曜日

藤井地区では若妻会を主体として季節保育所を六月五日から二十日間の予定で円照寺境内で開設します。

季節保育所

藤井

農繁期の六月を控え、児童四十一名を収容するため、町から一万円の補助が出ます。砂場、ブランコ、便所などの建設にお父さん方も出て準備に大童わです。

【写真は砂場をつくる父兄たち】

善意銀行に預託

小野氏と四少年

▽金千円　仲通町小野一雄氏（民生委員）

▽鉛筆、クレヨン、ノート、マンガ本、六美町の玉田秀夫君、日向野君江さん、須藤文江さん、日向野章男君

学校人事異動

4月1日現在

△転入

新任校

藤井小　川中子新一（芳）

賀市羽中より）

犬中　大垣公紀（那須賀川中より）

▽管内異動

壬小・稲葉登美子（藤小）

稲小教頭　高橋一重（東小）

犬中　河父正子（東小）

羽小　野原宏俊（北小）

東小教頭　森元ヨシ（安小）

東小教頭　福田幸郷（福中）

▽復職

壬生中教頭　大栗利徳

北小　条川喜永

▽新採用

壬小　栗原香明（学大）

同　佐々木葉子（若草学院）

稲中　林昭夫（学大）

同　荒瀬珠江（〃）

同　百瀬　基（〃）

▽転出

下都賀出張所社会教育主事　大塚弘（壬小）

部屋小　山崎修（壬小）

上小山小校長　金田正三（稲小）

富張小　早乙女咲子（羽小）

姿川第一小　小川ミイ（犬中）

▽退職

壬生小＝佐藤八重子、同条川大道、稲小＝市川政子、北小＝松田クメ、稲中＝石井洋子（須賀高校）、犬中＝古川由美子（作新高へ）

雑布二百六十枚寄附

仲通町の長寿会

各地に老人クラブができて集会や行事を行っていますが、仲通町の長寿会（会員三十六名）では、各人が材料と手間を奉仕して雑布二百六十枚をつくり、四月十日の新学期始まった壬生小学校に寄附し、先生や生徒たちから大へん感謝されています。

福祉年金をうけている方へ

次により、所得状況届の受付をします。証書とハンを持参下さい。（代理人可）　9時～4時記

6月3日　南犬飼支所

6月4日　稲葉支所

6月5日　本庁民生課

歴代の壬生城主

二、加藤氏のこと

正徳二年に鳥居氏が壬生城主となって明治維新まで七代約百六十余年間藩主でその間の治績につき二升七合、大豆一石つき二升七合、稗一石つき二升五合、荏油一石につき一升五合、真綿一貫目につき七文目、紅花一二十年たらずの間で正徳二年鳥居氏と入れかわり壬生城主となった三代約二十年たらずの間で正徳二年鳥居氏と入れかわりました。

加藤氏のとった所謂「七色の掛物」といった苛税に対する反抗である。七色の掛物とは大麦一石つき二升七合、大豆一石つき二升五合、荏油一石につき一升五合、真綿一貫目につき四合、真綿一貫目につき七文目、紅花一貫目につき二百目といった如く搾取した。これは単に壬生藩に限ったことではない百姓弱民が堪えかねて愁訴すれば上役人の御威光といって権力で抑圧した背に腹はかえられず百姓が騒乱をおこし百姓一揆となった。佐倉惣五郎しかりつ沼田の磔茂左衛門しかりであった。壬生でもそうしたことがおこった。

加藤氏の苛政は、勝手主が加藤嘉明の石高つき四合、真綿一貫目につき七文目、麻一貫目につき二百目といった苛政であった。加藤氏は壬生城主となること三代約二十年たらずの間で正徳二年鳥居氏と入れかわりました。

近江国（滋賀県）水口に

国替となった。二十年の間悪政を施し庶民を苦しめた。財産の唯一の牛馬を売ってさえ心お足らぬ。この苦況を見て一身をなげだして江戸に直訴して苛税を除かんとした者が次の三義人である。

上稲葉の石井伊左衛門、同村の須釜作十郎の三義人は、百姓町人によせられた。百姓の苦境は救われたのである。今この三義人の義侠に感じて祭られている総代八幡が新町に建立されて崇敬されている（福田）

【三義人のうち上新町にある総代八幡】

た重加税である。到底この重税には百姓は堪えきれない。財産の唯一の牛馬を売ってさえ心お足らぬ。この苦況を見て一身をなげだして江戸に直訴して苛税を除かんとした者が次の三義人である。

上稲葉の石井伊左衛門、同村の須釜作十郎の三義人は、百姓町人によせられた。百姓の苦境は救われたのである。今この三義人の義侠に感じて祭られている総代八幡が新町に建立されて崇敬されている（福田）

管内中学校の進路状況

	卒業生 男	卒業生 女	卒業生 計	就職者 男	就職者 女	就職者 計	進学者 男	進学者 女	進学者 計	家事従事者 男	家事従事者 女	家事従事者 計
壬生中	164	156	320	66	45	111	93	104	197	5	7	12
稲葉中	79	94	173	23	29	52	45	56	101	11	9	20
南大飼中	97	90	187	23	32	55	68	53	121	6	5	11
計	340	340	680	118	100	218	206	213	419	22	21	43
	100.0			32.1%			61.6%			6.3%		

県内への就職に努力を

管内中卒者の状況

管内三中学校（壬生中・稲葉中、南犬飼中）の今年春の卒業生は総数六百八十名です。その内訳は進学者が四百十九名で全体の六一・八%、就職者が二百十八名で三二・一%、家事従事者は四十三名で六・三%という結果が出ました。

今年の卒業生は六百八十名で昨年より十名減となっています。

まず〈進学者〉をみると四百十九名で昨年の四百六名より増え、進学率でも昨年の五八・八%を上廻り六一・六%となりこの傾向は強まるものと思われます。

また〈就職者〉をみると昨年が二百十二名で全体の三一・七%、今年の三二・一%とわずかの増加ですが、県内が百三十五名で六一・九%、県外が八三名の三八・一%となっており、これを昨年と比べると県内が百十六名で五四・七%、県外が九十六名で四五・三%を占め、県内への就職率が大幅に増えています。この原因は栃木県が首都圏という立地条件に恵まれ、著しく工場やサービス関係の仕事が増えているためと考えられます。

しかしながら三十八年三月卒の県外就職率は中学卒で全国平均三一・七%で本町の四五・三%という数字はなお、就職状態の後進性を示しております。

就職の内訳

	県内 男	県内 女	県外 男	県外 女
壬生中	43	30	23	15
稲葉中	13	10	16	13
南大飼中	19	20	4	12
計	75	60	43	40

二・一%と大差はありませんこの就職者二百十八名の県内、県外別をみると、県内が百三十五名で六一・九%、県外が八三名の三八・一%となっており、これを昨年と比べると県内が百十六名で五四・七%、県外が九十六名で四五・三%を占め、県内への就職率が大幅に増えています。この原因は栃木県が首都圏という立地条件に恵まれ、著しく工場やサービス関係の仕事が増えているためと考えられます。

しかしながら三十八年三月卒の県外就職率は中学卒で全国平均三一・七%で本町の四五・三%という数字はなお、就職状態の後進性を示しております。

最後に〈家事従事者〉では今年は総数の六・四%で昨年の一〇・四%を大きく割り込んできています。

これには農業等のあとつぎ問題が含まれており農業高校の農業あとつぎ者の関連がありますので省略します。

田も畑も集めて省力化と手間

道しるべ

けし

ましょう。けしはあへんなどによって、法の規定を禁じられています。法の禁じられているけしは、これ製あり、その系統は、ソムニフェエルカ、ソムニフェエルこのけしは、ほかにはこれ一種です。

この「けし」には厳密の原料であるモルヒネが含まれていて特にけしは、「あへん」がれます。この「けしーはよって法規すれば、きりの区別することは、種えしょうがいます。ひけ、おにけしっちしまひなしけしアルプスけしっけしあるスけしなどです。

農薬

の取締法によって、一般人が家庭いたり、勝手に田用、微布することを禁じています。殺虫物は、一般の農家のみなさん個人で買いつけたり、他人に譲ったり、持ったりすることも禁じています。

買いつけたり、持ったりすることができるのは農業協同組合、農業共済組合等の団体のみです。

発育

卵にむける如、巣や学ごとの卵をつなどが多くなってきました。九月四日から十日までは「蚕」蔟調査です。家蚕をつって繭の健康診断を受けて、むし蚕は早期に手当を受けましょう。

病の健康法は汚れなまの汚物を身につけていると皮膚炎をおこしやすい。また蚕炎やガスで蚕のたむつをそなえるとその中にふくまれたガスで皮膚をいためます。

これを防ぐには、少しでも目がさしたら手まわに太陽に当てるようにすることです。また蚕がたくさんあるとすぐ熱がでるようなことがあるようなことがあるようなことがあ